

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【公開番号】特開2016-198526(P2016-198526A)

【公開日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-066

【出願番号】特願2016-111010(P2016-111010)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月28日(2017.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定条件の成立により特別遊技を行うか否かを判定する特別遊技判定手段と、

所定の図柄表示部に図柄を変動表示させて、前記特別遊技判定手段による特別遊技の判定結果を示す図柄を停止表示させる図柄表示制御手段と、

前記図柄表示制御手段によって停止表示された図柄が特別遊技を示す図柄である場合に、特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

通常遊技状態と、前記通常遊技状態に比べて前記所定条件が成立しやすい特定遊技状態と、のうちのいずれかの遊技状態で遊技を制御可能な遊技状態制御手段と、

遊技に関する所定の状態を検出する検出手段と、

前記検出手段によって所定の状態が検出された際に、前記遊技状態制御手段によって制御される遊技状態に基づいて、所定の制御を行う制御手段と、

を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記制御手段は、前記検出手段によって所定の状態が検出された際に、

前記遊技状態制御手段によって第1の遊技状態で制御されている場合に前記所定の制御を行い、前記遊技状態制御手段によって前記第1の遊技状態とは異なる第2の遊技状態で制御されている場合に前記所定の制御を行わない、

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上述した課題を解決し、目的を達成するため、本発明にかかる遊技機は、所定条件の成立により特別遊技を行うか否かを判定する特別遊技判定手段と、所定の図柄表示部に図柄を変動表示させて、前記特別遊技判定手段による特別遊技の判定結果を示す図柄を停止表示させる図柄表示制御手段と、前記図柄表示制御手段によって停止表示された図柄が特別遊技を示す図柄である場合に、特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、通常遊技状態と、のうちのいずれかの遊技状態で遊技を制御可能な遊技状態制御手段と、

、前記通常遊技状態に比べて前記所定条件が成立しやすい特定遊技状態と、のうちのいずれかの遊技状態で遊技を制御可能な遊技状態制御手段と、遊技に関する所定の状態を検出する検出手段と、前記検出手段によって所定の状態が検出された際に、前記遊技状態制御手段によって制御される遊技状態に基づいて、所定の制御を行う制御手段と、を備えることを特徴とする。また、上記発明において、前記制御手段は、前記検出手段によって所定の状態が検出された際に、前記遊技状態制御手段によって第1の遊技状態で制御されている場合に前記所定の制御を行い、前記遊技状態制御手段によって前記第1の遊技状態とは異なる第2の遊技状態で制御されている場合に前記所定の制御を行わない、ことを特徴とする。